

腸管出血性大腸菌 O157 による患者発生について

- 1 本日、平成 29 年 7 月 29 日（土）午前 10 時に、札幌市保健所あて、市内の医療機関より、入院患者 2 名（70 歳代男性、80 歳代男性）について、腸管出血性大腸菌感染症の届出がありました。なお、届出患者 1 名は、基礎疾患により 7 月 27 日（木）に死亡しているとのこと。
- 2 また、入院患者 8 名（70 歳代から 90 歳代男女）が血便等の症状を呈しており、現在調査中です。
- 3 上記患者 9 名の容体は、安定又は快方に向かっています。
- 4 現在、札幌市保健所では、原因究明のため調査を進めており、感染拡大防止策について指導を行ったところです。